

令和7年度

事業計画書

札幌市稲寿園

特別養護老人ホーム 札幌市稲寿園 令和7年度事業計画

基本方針	【各事業所共通】 法人理念「共生」及び施設経営理念である公益性、社会貢献を認識し、地域に開かれた施設経営、入居者様・利用者様の安心安全な生活のため、環境を整えることに加え、職員の自己研鑽等による質の高い介護サービスの提供と利用される方々に喜ばれる地域共生社会の拠点施設の実現を目指します。
重点目標	【各事業所共通】 「サービスの質と稼働（経営の自立）の両立」をスローガンに、定性目標として「和顔愛語で利用者様一人ひとりの当たり前の生活に寄り添う」、定量目標として別途記載の稼働（数値）目標を掲げ、ビジョン（将来あるべき姿）として「成長体質のある選ばれる施設（事業所）」＝職員一人ひとりが成長を言語化することができ、利用者様・ご家族・職員・地域に選ばれる施設（事業所）を目指します。 【施設福祉等】 ・地域住民等への働きかけや区で企画された地域行事への参画、幅広い世代へのインターネットを通じた情報発信（ホームページや老人ホーム検索サイトへの掲載）などにより、相談しやすい雰囲気を作り、地域に根ざした施設を目指します。 ・自由面会へ原点回帰となり、家族対応をはじめ、サービスおよびホスピタリティの質が求められる場面も増える為、職員の接遇向上を後押しし、サービスの向上に努めます。 ・ご家族様参加型のサービス担当者会議を定期的開催することに努め、入居者様の思いや特性、また家族の意向をより尊重した個別性の高いケアプランを立案し、心身ともに活動的で満足度の高い生活を送れるよう支援します。 ・ICT導入について取り組み、関連するインカムやaams（マット型の見守り支援介護ロボット）について進めます。 【医療・機能訓練】 ・入居者様の身体・精神面の変化を観察し、不調や苦痛を最小限に抑えられるよう迅速に対応します。 ・感染対策を実施し、予防に努めます。 ・日常生活において入居者様の心身機能・能力を最大限に活かせるよう、また入居者様が楽しみの時間や充実感をもって過ごせるよう、他部署とのより一層の連携を図ります。 ・入居者様の尊厳が保持できる関わりをもつように努めます。 【栄養・調理】 ・給食委託会社と連携体制を確立し、安心・安全な給食サービスの提供に努めます。 【介護】 ・入居者様へのホスピタリティを意識した介護サービスの提供を心掛けると共に計画的な研修派遣を行い、介護職としてのスキル及び接遇の向上に努めます。 ・口腔機能及び認知症ケアの充実を図り入居者様の入居者様の生活の質向上を目指します。 【事務】 ・各部署の事業が円滑に進捗するための支援と併せて、費用管理を徹底し経費削減に努めます。
主要行事	【特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所】 誕生会、お花見、畑づくり、園内散歩（コース作成）、夏祭り、敬老の日式典、クリスマス会、避難訓練（年2回）、餅つき、正月行事（おみくじ・獅子舞）、節分、ひなまつりなどを予定。 ※その他、行事委員会にて安全に実施出来るものを企画し、実施可能なものを実施予定。 【デイサービスセンター】 年間行事：4月喫茶茶話会、5月お花見、6月夏祭り、7月外食おやつドライブ、8月茶話会、9月敬老会、10月秋の味覚祭、11月出張寿司、12月クリスマス会、忘年会、餅つきレク、1月新年会、2月節分、3月ひな祭り。各月レクリエーション：誕生会（毎月）、手工芸レク、お風呂週間、ゲーム大会、その他スタッフの企画レクリエーション。

研修会等	・札幌市稲寿園における内部研修、法人研修さらには職務に必要とする外部専門研修等に職員の積極的な参加を推進する。それらで得た情報や技術等は、各種委員会、または施設内各部署への報告等により職員全体でのレベルアップ及びスキルアップを図っていきます。 ・また、各関係事業所との情報共有会や事例研究会等にも積極的に参加できる体制を整え、職員の意欲向上、サービスの質の向上に努めます。
数値目標	【特別養護老人ホーム】 ・目標稼働率を97.0%とします。 ・即入所できる待機者を、常に5名以上確保します。 ・週1回以上、入院者の状況把握に努めます。 ・老人ホーム検索サイトの情報を活用し、相談件数月4回以上を目指します。 【短期入所生活介護事業所】 ・目標稼働率を78.0%とします。 ・居宅支援事業所、病院、老健等への訪問を年4回以上実施します。 【デイサービスセンター】 ・平均利用者数26.0人以上/日（稼働率81.25%以上）を目標とします。 ・体験人数7名以上/月、新規利用者4名/月を目指し、営業活動を行います。 【訪問介護】 ・月の目標派遣回数を延べ平均420回以上とします。 ・月の登録件数を75件とします。 【介護総合相談センター】 ・介護換算142件（要介護と要支援合計：予防4件で介護1件の換算）を目指します。

令和7年度

資金収支予算書

札幌市稲寿園

2025(令和7)年度 資金収支予算書

<拠点区分：札幌市稲寿園>

(単位：千円)

科目			2025年度予算額	2024年度決算見込②	差引増減額
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	638,168	635,982	2,186
		老人福祉事業収入	0	0	0
		保育事業収入	0	0	0
		医療事業収入	0	0	0
		借入金利息補助金収入	0	0	0
		経常経費寄付金収入	0	0	0
		受取利息配当金収入	0	0	▲ 0
		その他の収入	320	1,252	▲ 932
		流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0
		事業活動収入計	638,488	637,235	1,253
	支出	人件費支出	447,951	434,391	13,560
		事業費支出	92,308	94,629	▲ 2,321
		事務費支出	82,999	83,260	▲ 261
		利用者負担軽減額	2,280	2,281	▲ 1
		支払利息支出	306	11	295
		その他の支出	0	0	0
		流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
		事業活動支出計	625,844	614,571	11,273
	事業活動資金収支差額		12,644	22,663	▲ 10,019
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	38,006	▲ 38,006
		施設整備等寄附金収入	0	0	0
		設備資金借入金収入	0	26,812	▲ 26,812
		固定資産売却収入	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設設備等収入計	0	64,818	▲ 64,818
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,927	48	4,879
		固定資産取得支出	0	67,654	▲ 67,654
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
		ファイナンス・リース債務の返済支出	647	647	0
		その他の施設整備等による支出	1,093	1,093	0
		施設設備等支出計	6,667	69,442	▲ 62,775
	施設整備等資金収支差額		▲ 6,667	▲ 4,624	▲ 2,043
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
		長期運営資金借入金収入	0	0	0
		長期貸付金回収収入	0	0	0
		投資有価証券売却収入	0	0	0
		積立資産取崩収入	0	0	0
		事業区分間長期借入金収入	0	0	0
		拠点区分間長期借入金収入	0	0	0
		事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0
		拠点区分間長期貸付金回収収入	0	0	0
		事業区分間繰入金収入	0	0	0
		拠点区分間繰入金収入	0	0	0
		サービス区分間繰入金収入	0	0	0
		その他の活動による収入	0	0	0
		その他の活動収入計	0	0	0
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
		長期貸付金支出	400	760	▲ 360
		投資有価証券取得支出	0	0	0
		積立資産支出	0	0	0
		事業区分間長期貸付金支出	0	0	0
		拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0
		事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0
		拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0
		事業区分間繰入金支出	0	0	0
		拠点区分間繰入金支出	10,472	9,000	1,472
		サービス区分間繰入金支出	0	0	0
		その他の活動による支出	0	0	0
		その他の活動支出計	10,872	9,760	1,112
		その他の活動資金収支差額		▲ 10,872	▲ 9,760
	予備費支出		0	0	0
	当期資金収支差額合計		▲ 4,895	8,279	▲ 13,174
前期末支払資金残高		114,360	106,081	8,279	
当期末支払資金残高		109,466	114,360	▲ 4,895	

令和7年度

自主事業実施計画書

札幌市稲寿園

札幌市稲寿園「自主事業実施計画書」

札幌市稲寿園管理業務協定書第31条の規定に基づく自主事業に係る新年度の実施計画

1	自主事業の内容	札幌市稲寿園内に自動販売機(清涼飲料水等)の設置		
2	期 間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで		
3	使用料等			
	(1) 使用料(設置料)	1,300円 × 1台 × 12月 = 15,600円		
	(2) 加算料	目的外使用料、実費(使用電力相当の電気料)		
	(3) 事業収入	設置業者から使用電力相当の電気料の支払いを受け 売上利益、手数料等の徴収は無しのため、収入は無		
4	前年実績	令和6年度販売本数見込 約7,500本 当該自動販売機の設置は、入居者、面会等のため来園されるご家族、地域交流参加の地域の方々及び職員用として設置をしていますが、コロナ禍の中でも販売本数に大きな変化はなく、需要があり利便性を考慮し継続して設置する。		
5	収支計画		科目	金額
		収入	その他雑収入	電気料+目的外使用料 90,000
			合計	90,000
		支出	電気料	電気料(電力会社へ支払) 51,000
			雑支出	目的外使用料(市へ納付) 39,000
			合計	90,000
			収益	0